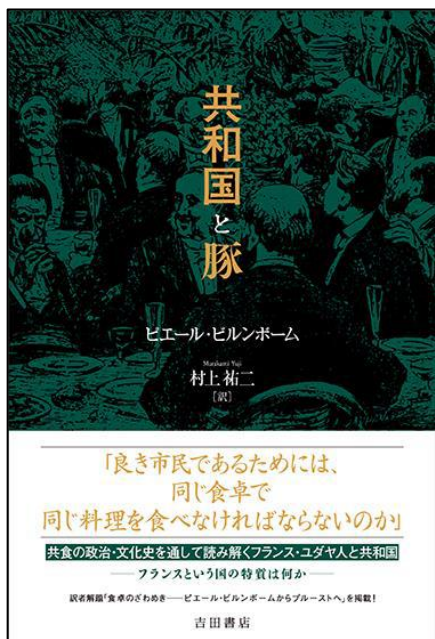


【9月上旬刊行】



46判上製 286頁 本体価格2900円
 ISBN:978-4-905497-89-9

共食の政治・文化史を通して読み解くフランス・ユダヤ人と共和国
 — フランスという国の特質は何か —

「良き市民であるためには、同じ食卓で
 同じ料理を食べなければならないのか」

共和国と豚

ピエール・ビルンボーム著 村上祐二訳

【著者】

ピエール・ビルンボーム (Pierre Birnbaum)
 1940年生まれ。専門は政治社会学、フランス近代史。パリ第1大学とパリ政治学院で教授を務めながら、ニューヨーク大学やコロンビア大学でも教鞭を執り、現在、パリ第1大学名誉教授。

【訳者】

村上祐二 (むらかみ・ゆうじ)
 1978年生まれ。京都大学文学部准教授。専門はフランス文学。著書に La Grande Guerre des écrivains, Gallimard, 2014 (全テキスト選定と解説、構成、注釈を担当) ; Proust et l' acte critique, Paris, Champion, 2020 (Guillaume Perrier との共著) など。

序論	豚の回帰
第1章	啓蒙と食
第2章	革命期
第3章	革命から革命へ
第4章	絶対共和国
第5章	スイスの青天の霹靂
結論	想像上の内的境界線の上で

訳者解題「食卓のざわめき——ピエール・ビルンボームからプルーストへ」

吉田書店 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-9-6 東西館ビル本館 32 TEL03-6272-9172

ご注文は株式会社JRCへ TEL03-5283-2230

FAX:03-3294-2177

書店印	ご注文	吉田書店発行	ピエール・ビルンボーム著/ 村上祐二訳	本体 2,900円 +税
	冊	共和国と豚		
		ISBN:978-4-905497-89-9		